

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	リスニング編 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学年	3年生	担当教員	鈴木晴奈	2	リスニング編 Part2 応答問題	リスニング力の向上
科目名	English Strategy TOEIC対策Ⅲ	時間数	136単位時間	3	リスニング編 Part3 会話問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	リスニング編 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、リーディング編			5	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	公式TOEIC Listening & Reading 6・7			6	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標				7	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目到達目標: ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付け 9月のTOEIC公開テストで600点、11月のTOEIC公開テストで700点をを目指す				8	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				9	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				10	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
授業の進め方・学習方法・課題 問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
実務経験教員の経歴 貿易会社での翻訳業務経験7年 大手英会話教室講師経験あり				20	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	準2級の重要名詞①	5月受験対策
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	2	準2級の重要名詞②	5月受験対策
学 年	3年生	担当教員	皆川・寺田	3	準2級の重要動詞①	5月受験対策
科 目 名	English Strategy 英検対策Ⅲ	時間数	136単位時間	4	準2級の重要動詞②	5月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	準2級の重要形容詞・副詞	5月受験対策
使用テキスト名	2024年度版 英検準2級過去問題集			6	準2級の重要前置詞・接続詞	5月受験対策
補助教材	スタディサプリ TEPPAN単語			7	準2級の重要熟語	5月受験対策
				8	準2級の重要会話表現	5月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	自動詞と他動詞	5月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				10	注意すべき時制	10月受験対策
				11	注意すべき受け身	10月受験対策
				12	助動詞①	10月受験対策
				13	助動詞②	10月受験対策
				14	評価テスト	評価
授業の進め方・学習方法・課題				15	仮定法	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策を定期的に行う 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	動名詞	10月受験対策
				17	分詞構文	10月受験対策
				18	関係詞	10月受験対策
				19	比較	10月受験対策
				20	長文読解	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	英作文問題①	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	英作文問題②	1月受験対策
				23	英作文問題③	1月受験対策
				24	リスニング 会話表現①	1月受験対策
				25	リスニング 会話表現②	1月受験対策
				26	リスニング 説明文	1月受験対策
				27	リスニング問題のテクニック①	1月受験対策
				28	リスニング問題のテクニック②	1月受験対策
				29	総合テスト①	1月受験対策
				30	総合テスト②	1月受験対策
				31	総合テスト③	1月受験対策
				実務経験教員の経歴		
				33	2次面接対策②	1月受験対策
				34	評価テスト	評価

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	現代中国語の基礎知識	発音と簡体字についての基礎知識を身に着ける				
学年	3年生	担当教員	蔡莉	2	入門篇上:1課 あいさつ	基本的なあいさつができる				
科目名	中国語 I (コミュニケーション)	時間数	68単位時間	3	入門篇上:2課 家族の呼び方	家族の呼び方を覚える				
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	入門篇上:3課 食べ物や日用品	食べ物や日用品について話せる				
使用テキスト名	中国語口語速成入門篇上・下			5	入門篇上:4課 数の数え方	数が数えられる				
補助教材				6	入門篇上:5課 場所について	場所について尋ねたり答えたりできる				
科目概要と科目到達目標				7	入門篇上:6課 自己紹介	簡単な自己紹介ができる				
中国語口語速成入門篇上・下を使用し会話中心の授業を行う。授業の最後にはタスク(課題)を与え、各課の学習目標(例えば「道を尋ねる」「注文する」など)に沿ってコミュニケーションを図れるよう練習を行う。 対面授業を基本とし、必要に応じて遠隔授業を実施する。				8	入門篇上:7課 様子の表現	自分や身の回りの様子について話せる				
				9	入門篇上:8課 国籍について	国籍について話せる				
				10	入門篇上:9課 家族について	家族について紹介することができる				
				11	入門篇上:10 日時について	日時について話せる				
				12	入門篇上:11課 所在について	人や物の所在について話せる				
				13	入門篇上:12課 買い物	コミュニケーションしながら買い物ができる				
				14	入門篇上:13課 特徴や性質	特徴や性質について表現できる				
授業の進め方・学習方法・課題				15	入門篇上:14課 レストラン	レストランで料理の注文ができる				
授業は中国語ネイティブが主に担当する。 1時間の中で4技能を学生が駆使できるような授業内容にする。 また実践的な運用能力を養うためタスクを与え、学生が自ら考え自主的に学習できるようにする。				16	入門篇上:15課 道順	道順を尋ねたり答えたりできる				
				17	前期試験					
				18	入門篇下:16課 今していること	今していることが話せる				
				19	入門篇下:17課 さっきしたこと	さっきしたことが話せる				
				20	入門篇下:18課 季節について	季節の変化について話せる				
				21	入門篇下:19課 得意なことについて	得意なことや不得意なことを話せる				
				22	入門篇下:20課 予定について	近い将来の予定について話せる				
評価方法・成績評価基準				23	入門篇下:21課 経験したこと	過去に経験したことを話せる				
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				24	入門篇下:22課 部屋の中について	部屋の中がどうなっているか説明できる				
				25	入門篇下:23課 電話	電話で会話ができる				
				26	入門篇下:24課 仮定の話	仮定の話ができる				
				27	入門篇下:25課 可能なこと	可能なことや不可能なことを説明できる				
				28	入門篇下:26課 比較	事物を比較して説明ができる				
				29	入門篇下:27課 処置について	事物の処置について表現できる				
				30	入門篇下:28課 お願いや命令	相手にお願いや命令ができる				
				31	入門篇下:29課 トラブルについて	トラブルについて受身表現で話せる				
				実務経験教員の経歴				32	入門篇下:30課 旅立ちと見送り	お別れや励ましの言葉が話せる
								33	総復習	様々な表現を駆使して会話ができる
				34	後期試験					

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	現代中国語の基礎知識	現代中国語文法の概要について知る
学年	3年生	担当教員	富田朋美	2	動詞	動詞の働きを学ぶ
科目名	中国語 I (文法)	時間数	68単位時間	3	形容詞	形容詞の働きを学ぶ
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業	4	名詞	名詞の働きを学ぶ
使用テキスト名	中国語口語速成入門篇上・下			5	数の数え方	数表現の原則を学ぶ
補助教材				6	存在表現	存在表現を学ぶ
科目概要と科目到達目標				7	語順	中国語の一般的な語順を学ぶ
				8	疑問文(1)	語気助詞「吗」を使った疑問文を学ぶ
中国語口語速成入門篇上・下を使用し文法中心の授業を行う。授業の最後にはタスク(課題)を与え、各課の学習目標(例えば「道を尋ねる」「注文する」など)に沿ってコミュニケーションを図れるよう練習を行う。				9	疑問文(2)	疑問詞を使った疑問文を学ぶ
				10	家族構成	家族構成を表現する文型を学ぶ
				11	日時	日時を表現する文型を学ぶ
				12	方位詞	存在や方位を表現する文型を学ぶ
				13	名詞化	名詞化に使う「的」を学ぶ
				14	動詞の重ね	動詞の重ね型について学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	二重目的語	二重目的語を使う動詞述語文を学ぶ
1時間の中で4技能を学生が駆使できるような授業内容にする。 また実践的な運用能力を養うためタスクを与え、学生が自ら考え自主的に学習できるようにする。 主に遠隔授業とする。				16	副詞の「多」	副詞の「多」を使った疑問文を学ぶ
				17	前期試験	
				18	動作の進行	進行中の動作を表現する
				19	動作の完了	完了した動作を表現する
				20	変化表現	天気や季節などの変化を表現する
				21	程度補語	程度補語の使い方を学ぶ
評価方法・成績評価基準				22	時間量補語	時間量を表す補語の使い方を学ぶ
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	動態助詞の「过」	動態助詞「过」の使い方を学ぶ
				24	動作の持続	持続する動作を表現する
				25	結果補語	結果補語の使い方を学ぶ
				26	方向補語	方向補語の使い方を学ぶ
				27	可能補語	可能補語の使い方を学ぶ
				28	比較表現	比較表現の文法を学ぶ
				29	処置式文(1)	処置式文の働きを学ぶ
				30	処置式文(2)	処置式文の文法を学ぶ
				31	受動表現(1)	受動表現の働きを学ぶ
				32	受動表現(2)	受動表現の文法を学ぶ
実務経験教員の経歴				33	総復習	学んだ文法を駆使して様々な表現をする
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	現代中国語の基礎知識	発音と簡体字についての基礎知識を身に着ける
学年	3年生	担当教員	富田朋美	2	入門篇上:1課 あいさつ	基本的なあいさつの文が読める
科目名	中国語 I (読解)	時間数	51単位時間	3	入門篇上:2課 家族の呼称	家族の呼称が読める
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	入門篇上:3課 食べ物や日用品	食べ物や日用品についての文が読める
使用テキスト名	中国語口語速成入門篇上・下			5	入門篇上:4課 数の数え方	数や値段が読める
補助教材				6	入門篇上:5課 場所について	場所についての文が読める
				7	入門篇上:6課 自己紹介	簡単な自己紹介の文が読める
				8	入門篇上:7課 様子	自分や身の回りの様子についての文が読める
科目概要と科目到達目標				9	入門篇上:8課 国籍について	国籍についての文が読める
中国語口語速成入門篇上・下を使用し読解中心の授業を行う。 看板や簡単な案内文、家族や故郷など周りのことを表す文章を理解することができる。				10	入門篇上:9課 家族について	家族についての紹介文が読める
				11	入門篇上:10 日時について	日時についての文が読める
				12	入門篇上:11課 所在について	人や物の所在についての文が読める
				13	入門篇上:12課 買い物	買い物についての文が読める
				14	入門篇上:13課 特徴や性質	特徴や性質についての文が読める
				15	入門篇上:14課 レストラン	メニューが読める
授業の進め方・学習方法・課題				16	入門篇上:15課 道順	道順についての文が読める
1時間の中で4技能を学生が駆使できるような授業内容にする。 また実践的な運用能力を養うためタスクを与え、学生が自ら考え 自主的に学習できるようにする。 対面授業を基本とし、必要に応じて遠隔授業を実施する。				17	前期試験	
				18	入門篇下:16課	今していることについての文が読める
				19	入門篇下:17課	さっきしたことについての文が読める
				20	入門篇下:18課	季節の変化についての文が読める
評価方法・成績評価基準				21	入門篇下:19課	得意なことや不得意なことについての文が読める
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	入門篇下:20課	近い将来の予定についての文が読める
				23	入門篇下:21課	過去に経験したことについての文が読める
				24	入門篇下:22課	部屋の中がどうなっているかについての文が読める
				25	入門篇下:23課	電話で会話についての文が読める
				26	入門篇下:24課	仮定の話についての文が読める
				27	入門篇下:25課	可能なことや不可能なことについての文が読める
				28	入門篇下:26課	事物を比較した説明についての文が読める
				29	入門篇下:27課	事物の処置についての文が読める
				30	入門篇下:28課	お願いや命令についての文が読める
				31	入門篇下:29課	トラブルについての文が読める
				実務経験教員の経歴		
				33	総復習	様々な表現を駆使した文が読める
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	現代中国語の基礎知識	発音の基礎を身に着ける
学 年	3年生	担当教員	蔡莉	2	入門篇上:1課 あいさつ	基本的なあいさつが聞き取れる
科 目 名	中国語 I (聴解)	時間数	102単位時間	3	入門篇上:2課 家族の呼称	家族の呼称が聞き取れる
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	入門篇上:3課 食べ物や日用品	食べ物や日用品について聞き取れる
使用テキスト名	中国語口語速成入門篇上・下			5	入門篇上:4課 数の数え方	数や値段が聞き取れる
補助教材				6	入門篇上:5課 場所について	場所についての文が聞き取れる
				7	入門篇上:6課 自己紹介	簡単な自己紹介が聞き取れる
				8	入門篇上:7課 様子	自分や身の回りの様子についての文が聞き取れる
科目概要と科目到達目標				9	入門篇上:8課 国籍について	国籍についての文が聞き取れる
中国語口語速成入門篇上・下を使用し聞き取り中心の授業を行う。授業の最後にはタスク(課題)を与え、各課の学習目標(例えば「道を尋ねる」「注文する」など)に沿ってコミュニケーションを図れるよう練習を行う。				10	入門篇上:9課 家族について	家族についての紹介が聞き取れる
				11	入門篇上:10 日時について	日時についての文が聞き取れる
				12	入門篇上:11課 所在について	人や物の所在について聞き取れる
				13	入門篇上:12課 買い物	買い物に必要な表現が聞き取れる
				14	入門篇上:13課 特徴や性質	特徴や性質についての文が聞き取れる
				15	入門篇上:14課 レストラン	料理の注文についての文が聞き取れる
授業の進め方・学習方法・課題				16	入門篇上:15課 道順	道順の説明が聞き取れる
授業は中国語ネイティブが主に担当する。 1時間の中で4技能を学生が駆使できるような授業内容にする。 また実践的な運用能力を養うためタスクを与え、学生が自ら考え自主的に学習できるようにする。 対面授業を基本とし、必要に応じて遠隔授業を実施する。				17	前期試験	
				18	入門篇下:16課	今していることについての文が聞き取れる
				19	入門篇下:17課	さっきしたことについての文が聞き取れる
				20	入門篇下:18課	季節の変化についての文が聞き取れる
評価方法・成績評価基準				21	入門篇下:19課	得意なことや不得意なことについての文が聞き取れる
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	入門篇下:20課	近い将来の予定についての文が聞き取れる
				23	入門篇下:21課	過去に経験したことについての文が聞き取れる
				24	入門篇下:22課	部屋の中がどうなっているかについての文が聞き取れる
				25	入門篇下:23課	電話での会話が聞き取れる
				26	入門篇下:24課	仮定の話についての文が聞き取れる
				27	入門篇下:25課	可能なことや不可能なことについての文が聞き取れる
				28	入門篇下:26課	事物を比較した説明が聞き取れる
				29	入門篇下:27課	事物の処置についてについての文が聞き取れる
				30	入門篇下:28課	お願いや命令が聞き取れる
				31	入門篇下:29課	トラブルについての文が聞き取れる
				実務経験教員の経歴		
				33	総復習	様々な表現を駆使した文が聞き取れる
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	中国語検定 ピンイン表記	6月受験 筆記問題1対策
学年	3年生	担当教員	富田朋美	2	中国語検定 ピンイン表記	6月受験 筆記問題1対策
科目名	中国語検定対策 I	時間数	68単位時間	3	中国語検定 必須単語習得	6月受験 リスニング問題対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	中国語検定 必須単語習得	6月受験 リスニング問題対策
使用テキスト名	中国語検定過去問題			5	中国語検定 簡体字習得	6月受験 筆記問題4, 5対策
補助教材				6	中国語検定 簡体字習得	6月受験 筆記問題4, 5対策
				7	中国語検定 簡体字習得	6月受験 筆記問題4, 5対策
				8	中国語検定 簡体字習得	6月受験 筆記問題4, 5対策
科目概要と科目到達目標				9	中国語検定 文法習得	6月受験 筆記問題2, 3対策
6月、11月実施の中国語検定の試験対策。				10	中国語検定 文法習得	6月受験 筆記問題2, 3対策
1年次終了までに中国語検定4級の取得を目指す。				11	中国語検定 文法習得	6月受験 筆記問題2, 3対策
中国語検定試験はリスニングと筆記の2科目が実施され、				12	中国語検定 文法習得	6月受験 筆記問題2, 3対策
授業では①語彙、②文法、③ピンイン表記、④聴解の対策を行う。				13	中国語検定 リスニング	11月受験 リスニング問題を把握
				14	中国語検定 リスニング	11月受験 リスニング問題演習
授業の進め方・学習方法・課題				15	中国語検定 リスニング	11月受験 リスニング問題演習
実際の過去問題を教材とし、前期は主に準4級、後期は主に4級の範囲を学習する。				16	中国語検定 リスニング	11月受験 リスニング問題演習
合格のポイントなどを丁寧に伝えながら、演習を繰り返す。				17	中国語検定 文法	11月受験に必要な文法事項を把握
対面授業を基本とし、必要に応じて遠隔授業を実施する。				18	中国語検定 文法	11月受験に必要な文法事項を習得
				19	中国語検定 文法	文法問題演習
				20	中国語検定 文法	文法問題演習
評価方法・成績評価基準				21	中国語検定 日文中訳	11月受験に必要な中国語作文について学ぶ
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	中国語検定 日文中訳	日文中訳問題演習
【成績評価基準】				23	中国語検定 日文中訳	日文中訳問題演習
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	中国語検定 日文中訳	日文中訳問題演習
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	次年度受験級に向けての対策	過去問の確認と課題の整理
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	次年度受験級に向けての対策	過去問の研究
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	中国語検定 リスニング	次年度受験級リスニング問題を把握
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	中国語検定 リスニング	次年度受験級リスニング問題の原稿読解
				29	中国語検定 リスニング	次年度受験級リスニング問題の原稿読解
				30	中国語検定 リスニング	次年度受験級 単語の習得
				31	中国語検定 リスニング	次年度受験級 単語の習得
実務経験教員の経歴				32	中国語検定 リスニング	次年度受験級 文法の習得
				33	中国語検定 リスニング	次年度受験級 文法の習得
				34	中国語検定 リスニング	課題の確認

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	第一課	子音b/mの発音を習得
学 年	3年生	担当教員	富田朋美	2	第一課	母音a/ i/ aiの発音を習得
科 目 名	中国語発音	時間数	34単位時間	3	第二課	子音g/d/kの発音を習得
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業	4	第二課	母音e/uの発音を習得
使用テキスト名	快樂時光幼兒漢語ピンイン篇日本語版			5	第三課	子音p/f/lの発音を習得
補助教材				6	第三課	母音o/aoの発音を習得
				7	第四課	子音zh/ch/shの発音を習得
				8	第四課	母音iaoの発音を習得
科目概要と科目到達目標				9	復習	第一課から第四課までのしあげ
中国語の発音法を理解し、実践的な発音を習得する。				10	復習	第一課から第四課まで暗唱
				11	第五課	子音j/q/xの発音を習得
				12	第五課	母音yu/iaの発音を習得
				13	第六課	子音z/c/xの発音を習得
				14	第六課	母音an/en/inの発音を習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	第七課	子音t/n/hの発音を習得
授業前半は講義形式で行い、中国語特有の発音法を中心に講義する。 後半には、理解した発音を実際にできるよう反復練習を行う。 遠隔授業のみ実施				16	第七課	母音angの発音を習得
				17	前期試験	
				18	第八課	子音 r の発音を習得
				19	第八課	母音ei/iu/ou/iangの発音を習得
				20	復習	第五課から第八課までの復習
評価方法・成績評価基準				21	復習	第五課から第八課までの復習
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	第九課	母音er/yueの発音を習得
				23	第九課	母音ui/ian/ingの発音を習得
				24	第十課	母音ua/uaiの発音を習得
				25	第十課	母音uan/ieの発音を習得
				26	第十一課	母音uo/yunの発音を習得
				27	第十一課	母音eng/ongの発音を習得
				28	第十二課	母音yuan/unの発音を習得
				29	第十二課	母音uang/ueng/iongの発音を習得
				30	復習	第九課から第十二課までのしあげ
				31	復習	第九課から第十二課までの暗唱
				実務経験教員の経歴		
				33	練習帳P64～	ピンイン、発音の総復習
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	中国と中国語を母語とする人々	中国と中国語の基本情報を理解する
学年	3年生	担当教員	富田朋美	2	中国の対人関係	対人関係の基本的な考え方を理解する
科目名	中国社会と文化	時間数	68単位時間	3	中国の国際関係	中国を取り巻く国際関係の現状を理解する
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	日本に対する考え	日本に対してどんな考えを持つか理解する
使用テキスト名	パワーポイント			5	家族や親戚の呼称	中国特有の家族や親戚の呼称を理解する
補助教材				6	中国の飲食	中華料理や飲み物の基本情報を理解する
科目概要と科目到達目標 中国の基本的な文化および現代文化に通じる歴史的背景を学び、理解することができる 現代社会が抱える課題を理解する。ニュースや新聞での表現方法や新語・流行語を学ぶ。				7	マナーに対する考え	マナーに対する考えの違いを理解する
				8	お金に対する考え	お金に対する考えの違いを理解する
授業の進め方・学習方法・課題 パワーポイントを使用し、一部講義形式で授業を展開する。 また、学生が気になる中国文化について発表し、 発表の仕方や情報収集方法、着眼点なども身に付ける。 対面授業を基本とし、必要に応じて遠隔授業を実施する。				9	中国人の呼び方	中国人の姓名や呼び方について理解する
				10	人気の歴史上の人物	中国で人気の歴史上の人物を知る
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				11	人気歌手	中国で人気のある有名な歌手を知る
				12	人気俳優	中国で人気のある有名な俳優を知る
実務経験教員の経歴				13	人気スポーツ選手	中国で人気のある有名スポーツ選手を知る
				14	人気のある日本人	中国で人気のある日本人について理解する
				15	新しい中国語①	近年登場した新語について学ぶ
				16	新しい中国語②	近年登場した新語について学ぶ
				17	前期まとめ	中国文化について学んだことをまとめる
				18	主要都市	中国の主要都市の特徴を理解する
				19	中国四大料理	中国四大料理の特徴を理解する
				20	世界遺産①	中国の世界遺産について理解する
				21	世界遺産②	中国の世界遺産について理解する
				22	中国のタブー	中国でタブーとされることを理解する
				23	中国語の方言	中国語の方言について理解する
				24	日本への観光①	中国人が日本を観光する際に期待することを理解する
				25	日本への観光②	中国人が日本を観光する際に期待することを理解する
				26	伝統文化	中国の伝統文化を理解する
				27	生活習慣	生活習慣の違いを理解する
				28	健康管理	健康のための活動について知る
				29	中国映画事情	中国映画について理解する
				30	パンダ	中国のパンダ事情を理解する
				31	行事	年間行事について理解する
				32	簡体字と繁体字	簡体字と繁体字の違いや使用状況を理解する
				33	後期まとめ	中国文化について学んだことをまとめる
				34	レポート作成および発表	中国文化について自ら学び発表する

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	依頼の表現①	ビジネスシーンに適した依頼の表現ができる
学年	3年生	担当教員	富田朋美	2	依頼の表現②	ビジネスシーンに適した依頼の表現ができる
科目名	ビジネス中国語 I	時間数	17単位時間	3	提案の表現	ビジネスシーンに適した提案の表現ができる
開講期間	後期	授業形態	対面授業	4	感謝の表現	ビジネスシーンに適した感謝の表現ができる
使用テキスト名	中国語表現～メールやビジネスシーンで恥をかかないために			5	謝罪の表現	ビジネスシーンに適した謝罪の表現ができる
補助教材				6	褒め言葉	ビジネスシーンに適した称賛の表現ができる
科目概要と科目到達目標 目上の方やお客様に対し、失礼のないように中国語でコミュニケーションを取ることができるようになる。 中国語でパソコンや携帯を通じたコミュニケーションを取ることができるようになる。				7	催促の表現	ビジネスシーンに適した催促の表現ができる
				8	訪問や面会のアポイントメント	訪問や面会のアポイントメントを取ることができる
授業の進め方・学習方法・課題 語彙や表現の解説の後、ロールプレイを行う。 ビジネスのあらゆる場面に対応できるよう様々なタスクを行う。				9	メール①件名と構成について	メールの件名と構成について学ぶ
				10	メール②宛名について	メールの宛名について学ぶ
				11	メール③文頭の挨拶について	メールの文頭挨拶が書けるようになる
				12	メール④結び方について	メールの結び方について学ぶ
				13	日本語の国字の中国語変換について	日本語の国字を使った氏名などに対応できる
				14	ビジネスメールに適した書面語	ビジネスメールで書面語が書けるようになる
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	携帯メール①	携帯メールに対応できるようになる
				16	携帯メール②	携帯メールに対応できるようになる
				17	後期試験	
				18		
				19		
				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
実務経験教員の経歴				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	常用動詞を使った作文	常用動詞を使って短文が書ける
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	2	一般動詞を使った作文	一般動詞を使って短文が書ける
学 年	3年生	担当教員	富田朋美	3	形容詞を使った作文	形容詞を使って短文が書ける
科 目 名	中国語文章表現 I	時間数	17単位時間	4	方位詞と場所詞を使った作文	方位詞と場所詞を使って短文が書ける
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	動詞述語文/「来・去」+動詞	動詞述語文/「来・去」+動詞を使って短文が書ける
使用テキスト名	作文から学ぶ中国語 上			6	形容詞述語文と名詞述語文	形容詞述語文と名詞述語文を使って短文が書ける
補助教材	中国語検定3級および4級 第3問および第5問 / HSK3級3記述問題			7	主述述語文	主述述語文を使って短文が書ける
科目概要と科目到達目標 初級の語彙と文法を用いた正しく分かりやすい短文で、伝えたいことを表現できる。 中国語検定4級および3級の記述問題とHSK3級の記述問題レベルの文章表現ができる。				8	疑問文1	さまざまな形の疑問文が書ける
				9	疑問文2	少し複雑な形の疑問文が書ける
授業の進め方・学習方法・課題 初級の文章表現に必要な文型を確認し、語順整序問題や日文中訳問題等を通して、作文能力を養う。				10	構造助詞を使った作文	構造助詞を使って短文が書ける
				11	助動詞を使った作文	助動詞を使って短文が書ける
				12	数量詞と不定量詞を使った作文	数量詞と不定量詞を使って短文が書ける
				13	助詞の「了」を使った作文	助詞の「了」を使って短文が書ける
				14	動態助詞「过」「着」を使った作文	動態助詞「过」「着」を使って短文が書ける
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	副詞を使った作文1	副詞を使って短文が書ける
				16	副詞を使った作文2	複数の副詞を使って短文が書ける
				17	後期試験	
				18		
				19		
				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	2	SDGsの基本知識について①	SDGsとは何かを理解する
学 年	3年生	担当教員	坂上//北村/矢後	3	SDGsの基本知識について②	SDGsとは何かを理解する
科 目 名	国際理解Ⅲ	時間数	68単位時間	4	SDGsの基本知識について③	SDGsとは何かを理解する
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	SDGsの基本知識について④	SDGsとは何かを理解する
使用テキスト名	SDGs見るだけノート			6	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
補助教材	SDGs探求ワークブック			7	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
				8	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
科目概要と科目到達目標				9	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。 ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、 「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。 また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら 世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				10	地域の問題を解決するための行動とは①	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				11	地域の問題を解決するための行動とは②	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				12	地域の問題を解決するための行動とは③	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				13	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
				14	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
前期では、SDGsについての理解を深め、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、 どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。 後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				16	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
				17	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
				18	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
				19	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
				20	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
評価方法・成績評価基準				21	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
				23	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
				24	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
				25	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
				26	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
				27	活動の振り返り⑥	改善点の提起
				28	1年間の活動報告をまとめる①	活動報告をまとめる
				29	1年間の活動報告をまとめる②	プレゼンテーションスキルを学ぶ
				30	1年間の活動報告をまとめる③	
				31	クラス内で活動報告を発表する	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案